

千葉

障害ある人もない人も 10日にふれあい演奏会

昨年のコンサートで演奏する荒川知子さん（奥）らのファミリアアンサンブル―NPOちば特別支援教育提供



特別支援教育に携わる教諭らでつくるNPO「ちば特別支援教育」（奥村兼弘理事長）は10日、第9回ふれあいコンサートを開く。障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しもうと毎年開催しており、千葉市中央区内2カ所の会場で開催する。

会場や開催時間は、県教育会館大ホール「ふれあいステージ」（午後1時～同4時半、入場料500円）と、きぼーる1階アトリウム「まちかどステージ」（午前10時～午後0時半、入場無料）。ふれあいステージでは、全盲の夫婦で演奏

活動に励む印西市の「ぷりんハート」が初出演する。まちかどステージでは、幕張小や千葉特別支援学校の卒業生の保護者を中心に結成された手話コーラスグループ「ぼんぼこたぬき」や船橋市の社会福祉法人「あかね」からはコカリナサークル「ワークアイ」、磯辺高校吹奏楽部や千葉大リコーダーアンサンブルらが登場する。両会場ともゲスト出演は、千葉市出身でダウン症のリコーダー奏者、荒川知子さんとフルート奏者の父健秀さん、ピアノ教師の母幸子さんによるファミリアアンサンブル。「ア

メイジング・グレイス」「キラキラ星による変奏曲」などを披露する。事務局の西川信明さんは「両ステージのエンディングは嵐の『ふるさと』を手話を交えながら来場者とともに歌う。コンサートで輝いている障害者の姿を見てもらい、来年の東京パラリンピックに向けて理解や共感が広がればうれしい」と来場を呼びかけている。チケットはNPOちば特別支援教育のホームページからも購入できる。問い合わせは西川さん（090・2520・3513）。

【渡辺洋子】